

登壇者 プロフィール

【主催者挨拶】 五百旗頭 真 国際防災・人道支援協議会（DRA）会長



1943年兵庫県西宮市出身。京都大学大学院法学研究科修士課程修了。法学博士。神戸大学法学部教授、防衛大学校長、兵庫県立大学理事長などを歴任。2012年より（公財）ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長。この間、日本政治学会理事長、政府の東日本大震災復興構想会議議長、くまもと復旧・復興有識者会議座長なども歴任。文化功労者。宮内庁参与。著書に『日本政治外交史』『米国の日本占領政策』『大災害の時代 未来の国難に備えて』など多数。

【基調講演】

木村 出 独立行政法人 国際協力機構 関西センター（JICA 関西）所長



兵庫県姫路市出身。東京大学（学士）、カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）（博士）。1997年に海外経済協力基金（OECF）に入職。（組織再編で1999年より国際協力銀行（JBIC）、2008年より現在のJICA。）フィリピン、インドネシア、イラク等の国担当、企画部門、研究部門などを経て、アフリカ地域担当課長、人事部課長、理事長室上席秘書（理事長（北岡伸一、田中明彦）担当）などを歴任。2022年7月より現職。2023年4月より、兵庫県立大学の非常勤講師として「国際関係論入門」も担当。

青田 良介 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 教授・博士（学術）



兵庫県職員として1995年の阪神・淡路大震災を経験。1998年にアジア防災センターに出向し、アジア地域各国との防災協力を進める。2001年4月に神戸大学大学院博士課程に進学、仕事の傍ら防災研究に取り組む。2015年3月に兵庫県庁を退職し、同年4月から兵庫県立大学防災教育研究センター准教授、2017年4月から兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授。自助・共助・公助の連携、自治体の防災力強化、海外との防災協力等に関する教育研究に携わる。浜松市天竜区緑恵台土砂崩落に係る行政対応検証委員会委員、尼崎市総合計画審議会委員、福崎町消防団あり方検討委員会委員長、兵庫県計画等策定支援専門家、兵庫県教育委員会学校防災アドバイザー等。

【団体発表】

池田 誠 アジア防災センター（ADRC）主任研究員



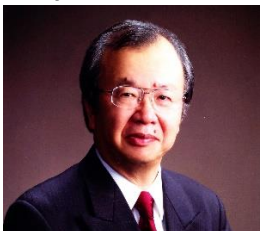
東京都立大学理学部卒業。同大学院理学研究科修士課程修了。山口大学大学院理工学研究科で災害時における防災意識に関する研究で博士号を取得。専門は防災分野における宇宙技術の利活用、GIS、防災意識に関する研究など。2005年より現職であるアジア防災センター（ADRC）に着任。災害時における地球観測衛星を用いた利活用に関するプロジェクト等に従事。2022年10月より神戸大学都市安全研究センター客員准教授を兼務。

吉田 明子 国連人道問題調整事務所（OCHA）神戸事務所長



慶應義塾大学卒、コロンビア大学国際公共政策大学院修士。国連事務局人道問題調整事務所（OCHA）アジア太平洋地域事務所、ニューヨーク本部、機関間常設委員会（IASC）事務局等を経て、現在、OCHA神戸事務所長。

【総括】 河田 恵昭 人と防災未来センター長



関西大学社会安全学部特別任命教授・社会安全研究センター長。工学博士。専門は防災・減災・縮災。京都大学名誉教授。2007年国連SASAKAWA防災賞、2009年防災功労者内閣総理大臣表彰、2010年兵庫県社会賞受賞、2014年兵庫県功労者表彰、2016年土木学会功績賞、2017年アカデミア賞、2018年神戸新聞平和賞受賞。